

まちの話題

企業の森林づくりと調印

企業の森林づくりに関する協定調印式が10月5日、神埼町尾崎の熊本電気工業株式会社と神埼市との間で行われました。



この協定は、地球環境に貢献したい企業と、森林整備を希望する自治体とを佐賀県が橋渡しする元気な企業の森林づくり活動支援事業の一環として、平成20年度から始まりました。

これにより熊本電気工業は、日の隈山の市有林4畝を「熊電の森」と名付け、5年間に渡り植栽活動や枝打ち活動などを行います。CO₂吸収量は5年間で61トンの予定です。協定調印は神埼市内ではトヨタ紡織九州に続き2件目となります。

市役所で行われた調印式では、熊本電気工業の熊本重徳社長が「森林づくりの活動は、環境保全に関心をもってもらうため、地域ぐるみで取り組んでいきたい」とあいさつ。松本市長は「日の隈は市民の憩いの場としてウエイトの高い場所なので非常にありがたい」とお礼を述べました。

エフピコ愛パックで入社式

神埼町尾崎に進出したエフピコ愛パック株式会社で、新たに雇用された従業員の入社式が9月6日に行われました。

エフピコ愛パックは、食品用プラスチック容器製造最大の株式会社エフピコ（本社・広島県福山市）の子会社で、企業では日本初となる「就労継続支援A型」事業者として設立。障がいのある方を正社員として雇用し、福祉サービスを受けながら各自の適性や能力に合わせて就労するスタイルの事業所づくりが積極的に行われています。

今回入社したのは10人で、うち3人が神埼市在住です。入社式では、藤井良朗社長が、「ご家族や支援者に支えて頂きながら、日々の仕事を通じて、一歩一歩着実に『働く』ということを学んでほしい」とあいさつ。新入社員のこれからの活躍に期待を寄せられていました。



事業所では、健常者と一緒に、障がいのある方が専任の指導員のもと、スーパードから回収された各種トレーをリサイクルするための選別作業や、弁当容器の組み立て作業などを行っています。



子ども能楽教室を開催

伝統文化に親しむ子ども能楽教室が9月24日、はんぎーホールで開かれ、今年も千代田町内の3小学校から児童と保護者など約350人が参加しました。



堀の水草観察会

神埼市内の水環境と景観を見つめ直そうと、9月23日に水草観察会が行われました。当日は、市民35人が参加して、横武クリーク公園、姉川城跡、中地江川、直鳥環濠集落などを探訪しました。

西九州大学の上赤博文教授の説明を聞きながら、神埼の堀に生育する絶滅危惧種に指定されているタヌキモやオグラコウホネ、アサザなどの貴重な水草について学びました。

また、直鳥環濠の堀では水質浄化の働きをもつ泥団子の投入も行いました。



何気なく見ていた堀や川には、貴重な水草が多くあることに参加者は驚き、水環境保全の大切さを実感していました。

能楽教室では、8月下旬から5回にわたり、福岡市在住のプロの能楽師・多久島利之さん（唐津市出身）、多久島法子さん親子の指導を受けてきた能楽に興味がある児童18人の「子ども能楽師」が謡や仕舞を披露しました。この日は、初めての能舞台上に緊張しながらも「猩々」と「養老」を熟演しました。また、参加者全員で「高砂」の謡のけいこと、希望者が実際に能面をつけて舞台を歩く「能面体験」で能楽を楽しみました。最後は、多久島さんらが「田村「土蜘蛛」」を実演し、参加者たちは、迫力のある動きに感動した様子でした。

春振町民スポーツの秋!

9月12日、第10回春振まるごと大運動会が春振小学校運動場で行われました。

当日は、雨の影響ですべての競技を行うことはできませんでしたが、子どもからお年寄りまで多くの参加があり、雨にも負けない元気いっぱい声援やかけ声があふれた大会となりました。大会結果は次のとおりです。

○一般の部

- 優勝 広滝西支部
- 準優勝 頭服支部
- 3位 鹿路支部

○小・中学生の部

- 優勝 白団
- 準優勝 紅団

※小・中学生の部は、後日、残りの競技を行った後の結果です。



▲選手宣誓をする合田敏晃さん一家

神埼町民体育大会

10月10日、神埼中央公園グラウンドで神埼町民体育大会が行われました。

当日は、天候にも恵まれ、多くの参加者でにぎわいました。入場行進では各地区工夫を凝らして会場を盛り上げ、各競技では出場者に対し、テントから大きな声援が上がっていました。



競技の結果は次のとおりです。

○総合の部

- 優勝 石井ヶ里
- 準優勝 犬の目
- 3位 的

○ミニ地区の部

- 優勝 荒堅目
- 準優勝 姉川下分
- 3位 神納

○入場行進パフォーマンス賞
荒堅目、尾崎西分、竹原



神埼町民スポーツ賞を表彰

神埼市では、スポーツ大会で優秀な成績を収め、神埼市のスポーツ振興に貢献した市民の皆さんを「神埼市スポーツ賞」として表彰しています。

今回、全国高等学校総合体育大会(インターハイ)新体操競技で優勝した神埼清明高等学校の中山智浩監督(神埼町)をはじめ神埼町在住の選手8人を10月10日に行われた神埼町民体育大会で表彰しました。

受賞された選手の皆さんは次のとおりです。(敬称略)

- 田原正樹 島 太一
- 中山泰希 藤田悠暉
- 島ノ江翔太 箕原厚樹
- 森 龍汰 富本将輝

おめでとうございます。



※10月3日に予定していた千代田町民体育大会は、雨のため中止となりました。

サガン選手と楽こっぴー

神崎市シニア健康づくり教室
ミズサガン鳥栖が9月17日、神
崎市B&G海洋センターで行わ
れました。

このイベントは、Jリーグの基
本理念である「地域貢献」「介
護予防事業」に神崎市が賛同
し、サガン・ドリームスと西九
州大学の協力で開かれました。

今回は、神崎市老人クラブ
連合会から32人が参加し、サガ
ン鳥栖の赤星拓選手、首藤慎
一選手と西九州大学の講師や
学生ボランティア16人が健康体
操を指導しました。ストレッチ
で体を温めたところで、サッカー



ボールを使った簡単なレクリエー
ションを行い、参加者は、さわ
やかな汗を流していました。

長寿を祝う

9月17日、21日の
両日、市長が市内の
100歳以上の方
(38人)の自宅や入
所施設などを訪れ、
長寿を祝いました。

今年度100歳を
迎えられる方は、16
人で昨年の7人を大
きく上回りました。市の最高齢
者は、109歳(明治34年生ま
れ)の深堀久千代さん(千代田
町)で、5年連続となります。



市では新80歳の方にも長寿祝
金を交付しており、今年度の支
給対象は、318人となってい
ます。

下村湖人66年生誕祭

10月2日、「次郎物語」の著
者として知られる下村湖人(千
代田町出身)の生誕126年を
祝う催しが、湖人生家やはん
ぎーホールで開かれました。

生家で開かれた式典には、約
100人が出席し、湖人の功績
を称えました。市内の小中学生
から募集した「次郎物語」の読
書感想文や読書感想画、6月
12日に行われた「次郎の家」ス
ケッチ大会の表彰が行われ、読
書感想文最優秀賞者による朗読
も行われました。



また、夕方からは、お茶会や
音楽会が、はんぎーホールで開
催され、多くの市民が楽しいひ
とときを過ごしました。

表彰者は、次のとおりです。
(敬称略)

〈次郎物語読書感想文〉

- ・宮地 彩美(千代田東部小)
- ・江頭 舞(千代田中部小)
- ・森山 光(千代田西部小)
- ・内川 彰斗(神埼小)
- ・永原 駿一(千代田中)

〈次郎物語読書感想画〉

- ・北川 凌也(千代田東部小)
- ・本村 花奈(千代田中部小)
- ・末次 兼備(千代田西部小)
- ・花本 紋斗(神埼小)
- 〈次郎の家スケッチ〉
- ・牟田口 彩(神埼中)
- ・久富 友季(千代田東部小)
- ・北村 菜々子(神埼中)
- ・山口 正子(一般)

無縁仏に献花

彼岸の入りの9月20日、千代
田町の下黒井老人クラブひまわ
り会の会員35人が無縁仏に献花
を行いました。この活動は、約
20年前から、春秋の彼岸など年
4回行われているもので、参加
者たちは、
下黒井5
カ所の墓
地に眠る
約40柱の
無縁仏に
秋の草花
や線香を
手向けま
した。



高校生も安全呼びかけ



秋の交通安全県民運動に合
わせ、街頭キャンペーンが9月21
日、神崎町横武の麺物語本舗
の駐車場で行われました。キャ
ンペーンには、神埼地区交通安
全協会、神崎市婦人会、神埼
清明高校生徒会などから約20
人が参加しました。

参加者は、交通安全啓発チ
ラシや神崎清明高校生が作った
手作りのアーモンドクッキー15
0セットを「交通事故に気をつ
けて下さい」とドライバーに声
をかけながら手渡していました。

卓球カデット全国大会出場



9月23日に全日本卓球選手権大会カデットの部、シングルス、県予選が行われ、13歳以下女子シングルの部で脊振中学校1年の宮地祐衣さんが優勝しました。

宮地さんは11月19日から岩手県花巻市で開催されるJOCジュニアオリンピックカップ2010全日本卓球選手権大会（カデットの部）に佐賀県代表として出場することになりました。活躍を期待します。

防火ポスターの表彰

神埼地区消防本部管内の小中学生から募集した防火ポスターの入賞者表彰式が9月30日、消防本部で行われました。296点の応募の中から最優秀賞2点、優秀賞18点、入選48点選ばれ、代表して最優秀賞と優秀賞を受賞した20人が表彰式に参加しました。

式では、森重喜消防長から一人ひとりに表彰状が手渡され、最優秀賞を受賞した千代田西部小学校5年の末次真名さんは「最優秀賞を受賞できてうれしい。消えたかなというテーマで書いたので多くの人に見てもらい火事に気をつけてほしい」と話していました。



最優秀賞2点は佐賀県消防協会へ推薦され、優秀賞と入選作品は、11月15日まで神埼市内のショッピングセンターなどで巡回展示されます。

郵便局で絵手紙展示

千代田中学校の生徒が書いた絵手紙が、10月1日から22日まで千代田郵便局と千歳郵便局の2カ所で展示されました。



絵手紙は、「夏の思い出」をテーマに夏休みの宿題として作成されたもので、全校生徒300人の作品を地域の人が集まりやすい郵便局に展示しました。

この展示は、千代田中学校で美術を教えている衛藤拓典教諭が、生徒に自分の作品で人の心を動かすことができることを知ってもらおうと、初めて企画したもので、「絵手紙を通じて人と人とのつながりを実感し、美術に興味をもってくれば」と話していました。

第2弾として千代田町社会福祉協議会と協力し、一人暮らしのお年寄りに絵手紙年賀状を送る予定です。

秋空の下、元気を

9月26日、平成22年度神埼市ゲートボール大会（神埼市体育協会主催）が神埼中央公園グラウンドで行われ、市内22地区より128人が参加して熱戦を繰り広げました。

参加者は秋空の下、元気を体を動かし、競技を楽しんでいました。大会結果は次のとおりです。

- 優勝 駅通り（神埼町）
- 準優勝 久保山（脊振町）
- 3位 黒津（千代田町）



▶優勝した駅通り地区の皆さん

カーブミラーを清掃

神埼建設業協会が9月22日、吉野ヶ里歴史公園周辺のカーブミラー清掃を行いました。この活動は、地域への感謝を込め、吉野ヶ里歴史公園につづく道の景観美化活動として、6年前から彼岸花の植栽や清掃などを行っています。

今年は、秋の交通安全県民運動に合わせ、事故防止に役立てばと、周辺のカーブミラー88カ所を約3時間かけて清掃しました。

神埼建設業協会の牟田正明会長は「地域貢献ボランティア活動は当協会の重点目標の一つです。今後も地域のために続けていきたい」と話されていました。

まちながきれい

10月17日、神埼市クリーン作戦と第25回筑後川水系（筑後川・城原川）河川美化運動「フーポイ運動」が行われました。

皆さんのご協力により、道路や河川・公園などにごみの散乱がなくなり、美しい神埼市になりました。

今後とも環境美化の推進と地域ごとの清掃活動にご協力をお願いします。